

1. 音楽法要・同朋唱和勤行

音楽法要は、仏教讃歌によって組み立てられた法要です。

仏教讃歌というのは、仏さまの教えに出遇うことができた喜びを、現代に生きている私たち自身の言葉で表現した歌です。また、私たちに馴染み深いメロディを使って表現した歌です。仏さまをたたえ、仏さまの教えをたたえ、親鸞聖人をはじめ、教えを私たちのところまで伝えてくださった方々をたたえる歌です。また、このたびは音楽法要で、同朋唱和勤行（緑本）を皆様と共に勤めいたします。



2. 伝統声明の紹介

坂東曲（ばんどうぶし）

坂東曲は、東本願寺報恩講の最終日（11月28日）の結願日中のみ用いられる伝統あるお勤めです。

このお勤めは、念仏と和讃を繰り返し、約60名の僧侶が体を力強く前後左右に動かして勤めるもので、大変ダイナミックな声明であります。

坂東曲は、一般寺院や別院などではお勤めすることができません。このたび、教区の御遠忌において、皆様にこの特別なお勤めをお伝えすることが出来ないかと考え、東本願寺より特別に許可をいただき、東本願寺報恩講で勤まる坂東曲を一部抜粋し「伝統声明の紹介」という形で紹介させていただきます。



3. 記念講演

一楽真（いちらく まこと）

高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌を記念として、教区御遠忌テーマ「私はどこで生きているのか 一たずねよう 真宗の教えに一」を主題として、講演いただきます。

プロフィール

1957(昭和32)年生まれ。小松教区宗圓寺住職、大谷大学文学部真宗学科教授。仏教はどのような生き方を人間に開くのか、それを親鸞の生涯と思想を通して研究し、また全国で布教されています。著書『親鸞聖人に学ぶ—真宗入門』（東本願寺出版）、『この世を生きる念仏の教え』（同）、『大無量寿経講義—尊者阿難、座より立ち』（文栄堂）など多数。



高田教区宗祖親鸞聖人

七百五十回御遠忌法要

高田別院 2018年4月18日～21日
新井別院 2018年4月23日～24日

